



フォーサイド グループ 2023年12月期第3四半期 決算説明資料

補足説明資料

2023年12月期第3四半期 連結業績ハイライト

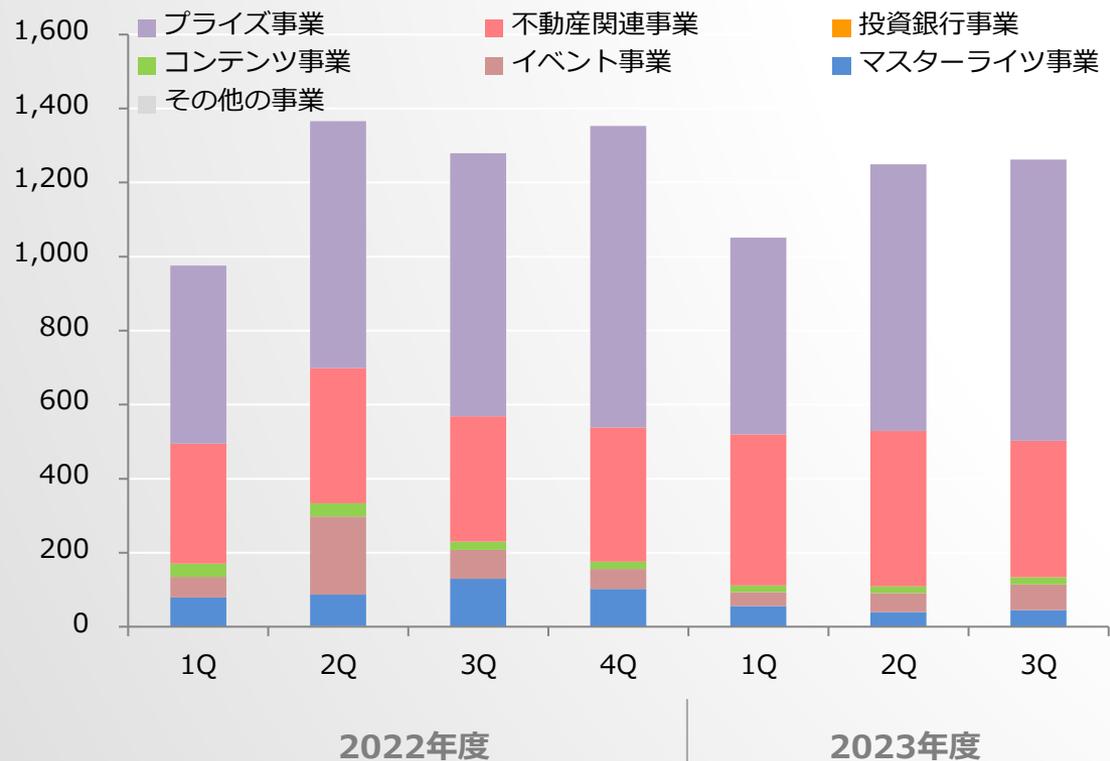
(単位：百万円)

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	3,631	3,570	98.3%	<p>2023年12月期第3四半期の営業収益は、主力事業である「プライズ事業」「不動産関連事業」ともに売上規模を拡大。一方で、Popteenの紙面販売終了や早期の業績回復を見込めない連結子会社3社の株式譲渡により、グループ全体の営業収益は前年比1.7%減少の3,570百万円となった。</p> <p>利益においては、不動産関連事業における貸倒引当金繰入額が増加したものの、プライズ事業におけるコストコントロールの徹底、出版事業の制作コストのさらなる見直し、連結子会社の譲渡等により販売管理費が圧縮されたことで、収益は大幅に改善。</p> <p>これらの結果グループ全体の営業利益は56百万円、経常利益は50百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円となった。</p>
売上総利益	1,334	1,442	108.5%	
販売管理費	1,414	1,385	98.0%	
営業利益	△79	56	—	
経常利益	△75	50	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△85	48	—	

主力事業の売上規模拡大・不採算事業の整理等により
利益は大幅に改善

営業収益の推移

(単位：百万円)



プライズ事業・不動産関連事業の売上は好調に推移

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業

プライズ事業では、プライズゲーム用品品の需要は堅調に推移し、多種多様な商品化に取り組み、売上規模を拡大。また、為替の円安進行で仕入原価が上昇するも、適切なコストコントロールを進めたこと等により、前年同期を大きく上回る利益を確保。

不動産関連事業

不動産関連事業では、引き続き、新規取引店の獲得や既存取引先の再稼働等、営業強化・拡大に向けての取り組みにより、売上高は好調に推移。一方で、管理回収面においては、与信審査及び債権管理業務の強化に取り組むも、滞納発生増加による代位弁済立替金の増加に係る貸倒引当金繰入額の増加に加えて、営業強化・拡大によるコスト増加等により、セグメント利益は減少。

コンテンツ事業

コンテンツ事業では、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、集客施策として、人気作品の配信数の拡充に努めるとともに、無料試し読みや各種割引キャンペーンを展開。一方で、2022年7月を以って、auスマートパス「アプリ取り放題」が終了したことにより、セグメント全体では減収減益。

イベント事業

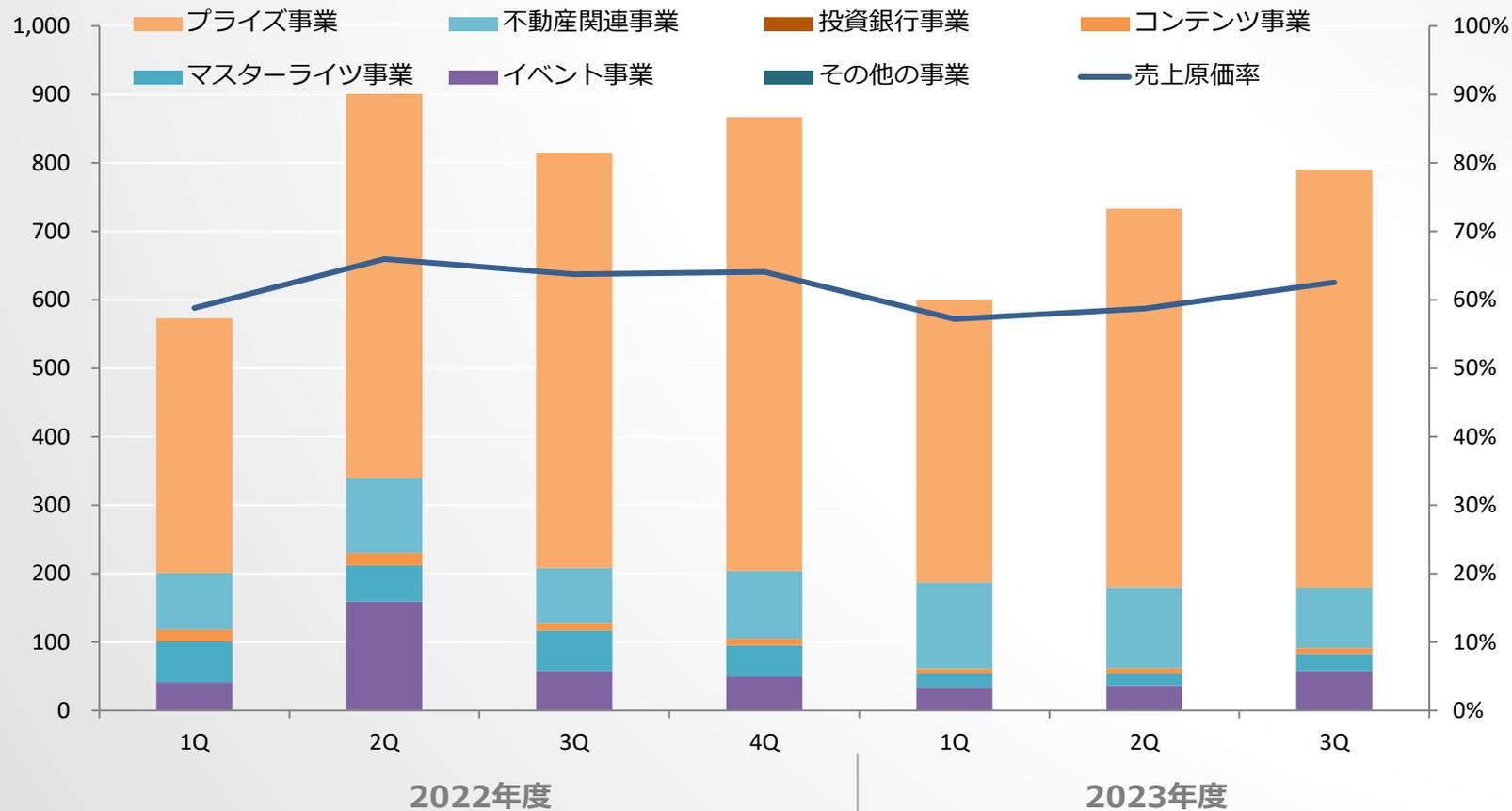
イベント事業では、多くのイベントでグッズ物販を展開。一方で、OEM物販の受注減少を補うまでには至らず、減収減益。

マスターライセンス事業

女子小中学生向け雑誌「Cuugal」の新イメージモデルにかんちゃん（カジサック氏の長女）及び望蘭ちゃんを起用することで、ブランド認知度が大きく向上。また、コストコントロールの徹底に努めたことにより、収益体質が改善。「Popteen」においては、2023年8月に「Popteen夏のかわちい祭」を開催。また、WEBマガジンや各種SNSを強化することで、読者層の拡大を目指してまいりましたが、広告売上が伸び悩んだこともあり、利益を確保するには至らず。なお、赤字の状態が早期の業績回復を見込めない音楽関連事業が連結除外されたことで、セグメント損失は大幅に縮小。

原価の推移

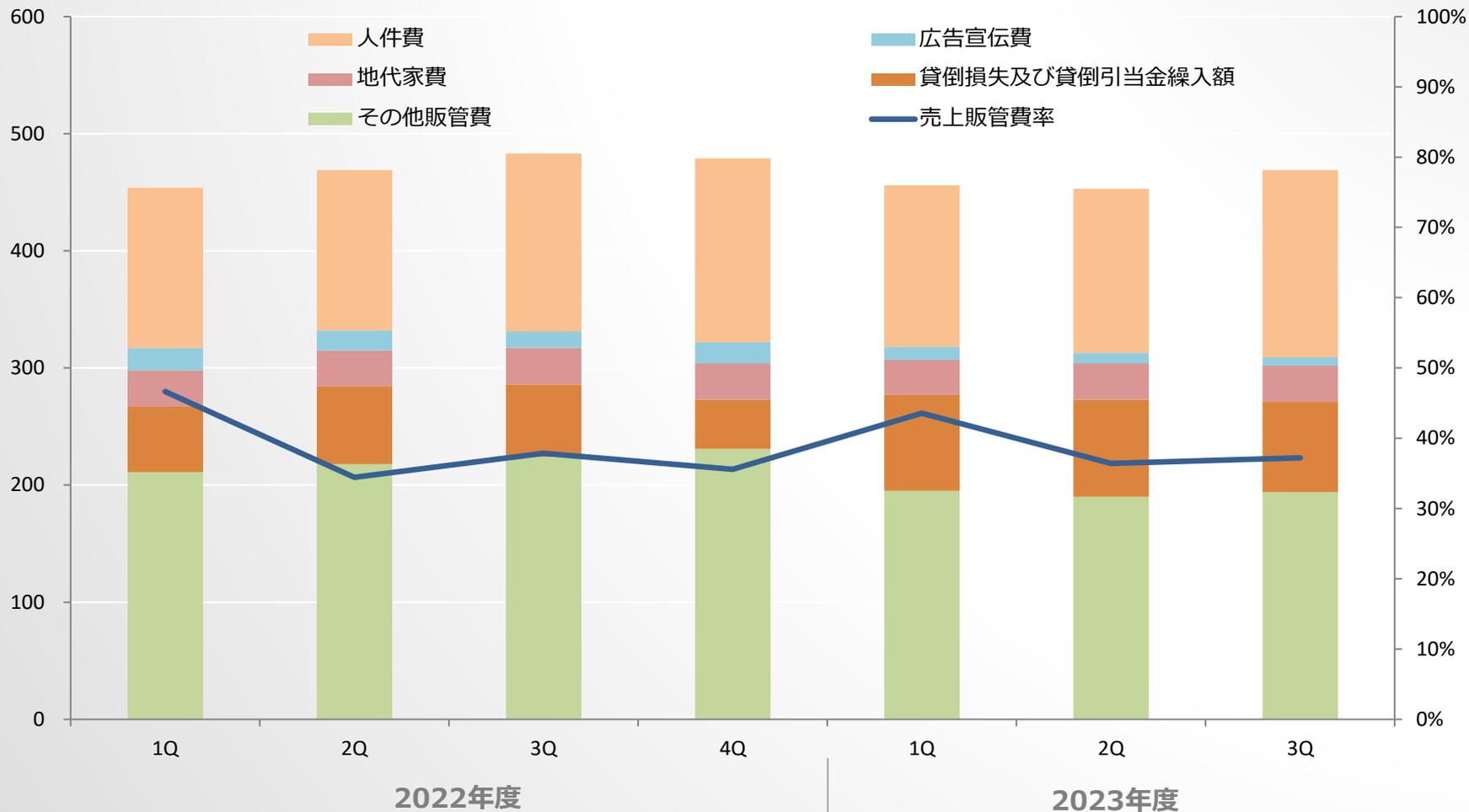
(単位：百万円)



為替レートは円安傾向にあるも、製造コストの見直しを徹底

販売管理費の推移

(単位：百万円)



不動産関連事業における貸倒引当金繰入額は高止まったまま
他方、コスト削減を徹底し、全体では前年同期比2.0%減少

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年度 12月期	2023年度 第3四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資産	4,249	4,536	287	資産については、現金及び預金の増加321百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少172百万円、収納代行未収金の増加109百万円、代位弁済立替金の増加124百万円等により、前連結会計年度末に比べ287百万円の増加となった。
負債	3,193	3,023	△170	負債については、短期借入金の減少204百万円、支払手形及び買掛金の減少79百万円等により、前連結会計年度末に比べ170百万円の減少となった。
純資産	1,055	1,513	457	純資産については、第三者割当増資による資本金の増加202百万円及び資本準備金の増加202百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ457百万円の増加となった。

(注) 2023年11月13日現在、発行済株式総数は37,687,704株、資本金は302百万円です。

第三者割当増資による資本金及び資本準備金の増加により、純資産は増加

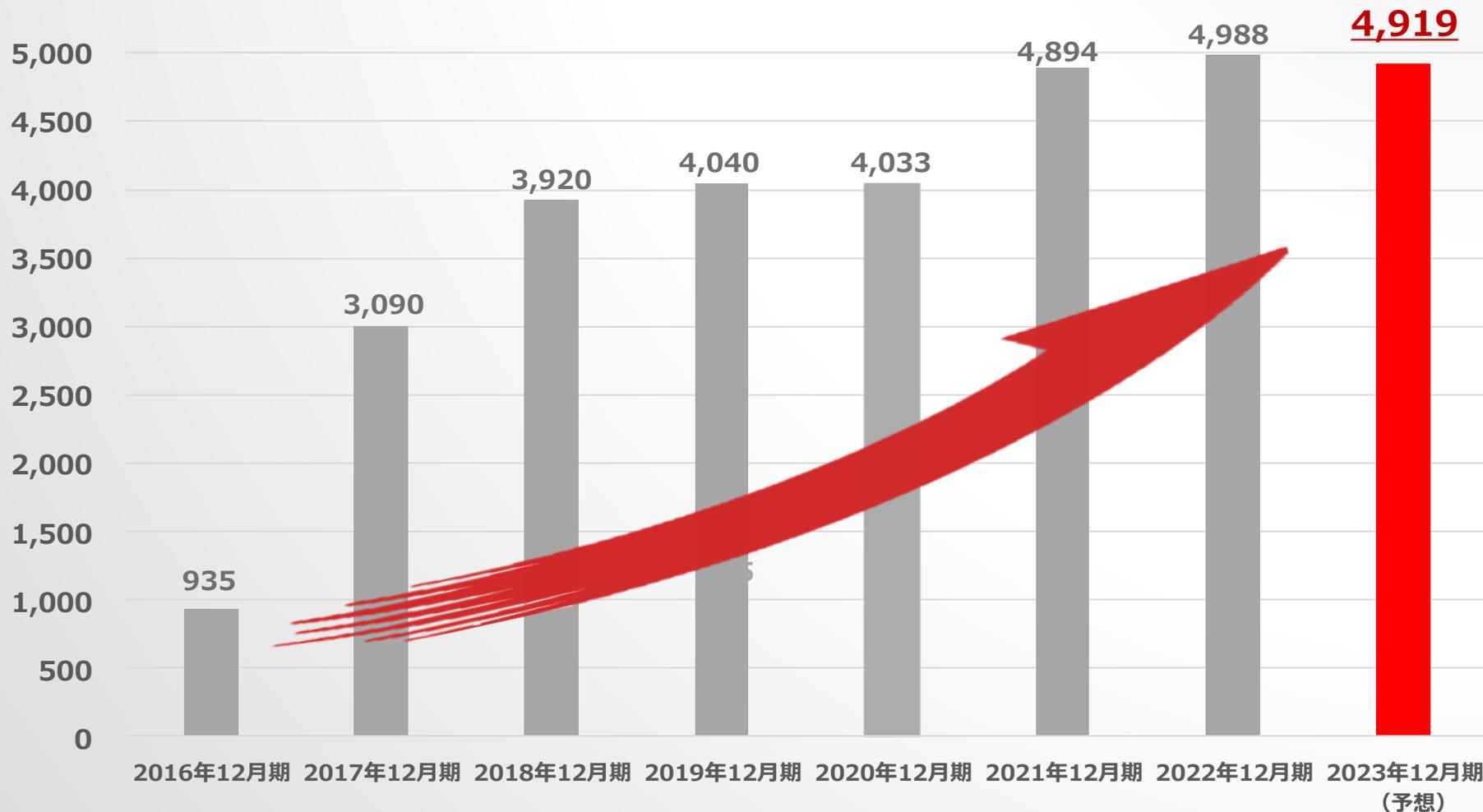


2023年12月期の業績見通し

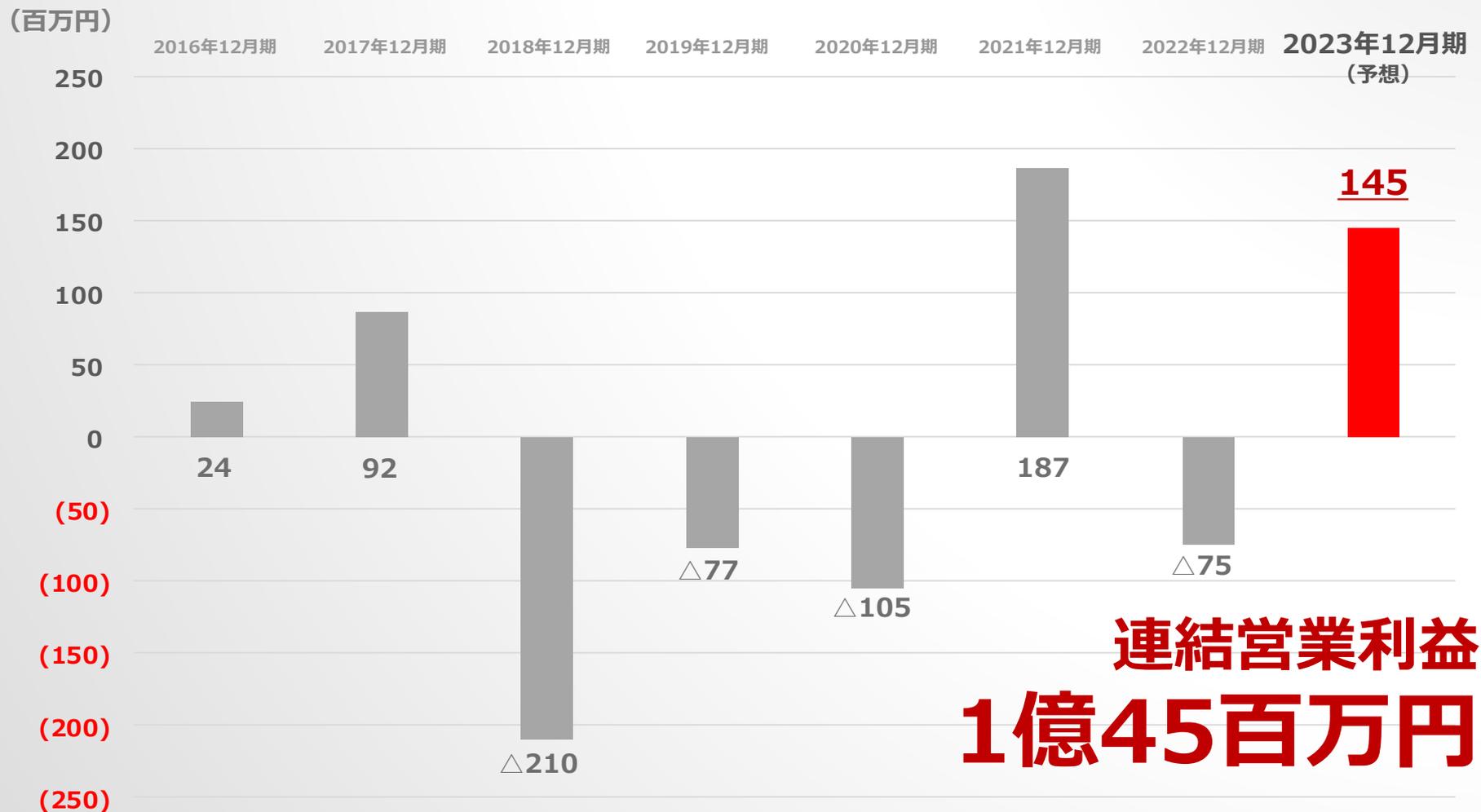
連結営業収益（通期予想）

連結営業収益49億19百万円

(単位：百万円)



連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会社名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所在地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設立日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資本金

302,635,000円 (2023年11月13日現在)

経営陣

代表取締役 根津 孝規 常務取締役 飯田 潔 常務取締役 吉田 生喜
取締役 泉 信彦 取締役 松原 俊幸
取締役 河崎健一郎 取締役 荒木 聡
監査等委員 法木 右近 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛

顧問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事業

株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/出版事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通しは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。

実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。